



碧南市民に対する介護費用は、
**県全体平均より金額換算で
 約1億2千万円安く済んでいます**

市の高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）は、4月1日現在で23.5%（7万3千180人中1万7千225人）で、県全体より1.6%（人数換算で千171人、国全体より5.1%（人数換算で3千732人）少ない状況です。

一方、後期高齢化率（人口に占める75歳以上の人の割合）は、4月1日現在で12.1%（7万3千180人中8千879人）で、県全体より0.7%（人数換算で512人）少なく、国全体より2.7%（人数換算で千976人）少ない状況です。このことから、碧南市では高齢化率は低いけれども、介護や医療がより必要となる後期高齢者率は、県全体並みであることがわかります。

しかし、碧南市の高齢者は大変元気です。要支援・要介護での介護保険利用率は、4月末現在で、14.0%（65

歳以上人口1万7千225人中2千405人で県全体より0.4%（人数換算で69人）、国全体より1.5%（人数換算で258人）少ないのです。このことは、碧南市では、介護にかかる経費も相対的に少なく済んでいることを意味しています。現在、介護保険利用者の1か月当たりの平均経費は約15万円、年間約180万円です。県全体平均より69人×180万円＝1億2千420万円、国全体平均より258人×180万円＝4億6千440万円、介護保険利用金額が少なく済んでいます。

介護保険にかかる費用は、40歳以上の市民が支払う保険料で2分の1、国の負担金で4分の1、県と市の負担金でそれぞれ8分の1を負担する仕組みです。従って、市民の皆さんの保険料で負担する金額も県全体平均より、1億2千420万円×2分の1＝6千210万円少なくなっています。その結果を反映して、市の介護保険料は、標準段階の月額で4千860円であり、県下38市の中で安い方から7番目です。また、市が負担する金額も県全体平均と比較すると、年間1億2千420万円×8分の1＝1億5千53万円安く、国全体平均とは、年間で4億6千440万円×8分の1＝5千805万円安く済んでいます。

碧南市の高齢者は、老人クラブや踊り、卓球、ブランドゴルフなどの活動、お風呂、筋トレルーム、レールパークなどの利用などによって皆さん元気です。

衣浦東部広域連合NEWS

■ 衣浦東部広域連合事務局総務課総務係 ☎(63)0131

衣浦東部広域連合議会定例会が、8月25日に広域連合議会議場（刈谷市役所）で開催されました。議会では、一般質問のほかに監査委員の選任、職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例、2年度一般会計補正予算についての議案が可決されました。

また、元年度一般会計歳入歳出決算が認定され、歳入総額と歳出総額の差引残額1億4,837万4,004円でした。歳入では、関係市の分担金が全体の95.4%を占めています。歳出では、消防費が全体の92.4%を占めています。

歳入

科目	予算現額(円)	収入済額(円)	構成比	収入率
分担金および負担金	5,511,041,000	5,511,041,645	95.4%	100.0%
使用料および手数料	22,136,000	21,741,600	0.4%	98.2%
国庫支出金	11,906,000	12,210,064	0.2%	102.6%
県支出金	45,000	61,000	0.0%	135.6%
財産収入	6,705,000	8,500,538	0.2%	126.8%
寄附金	1,000	0	0.0%	0.0%
繰越金	204,565,000	204,564,355	3.5%	100.0%
諸収入	16,019,000	18,760,314	0.3%	117.1%
計	5,772,418,000	5,776,879,516	100.0%	100.1%

歳出

科目	予算現額(円)	支出済額(円)	構成比	執行率
議会費	2,358,000	2,049,059	0.0%	86.9%
総務費	234,867,000	222,925,582	4.0%	94.9%
消防費	5,309,649,000	5,198,487,939	92.4%	97.9%
公債費	205,544,000	205,042,932	3.6%	99.8%
予備費	20,000,000	0	0.0%	0.0%
計	5,772,418,000	5,628,505,512	100.0%	97.5%

●今回選出の衣浦東部広域連合議会議員（議席番号順、敬称略）

刈谷市選出 渡邊妙美、松永寿、黒川智明、新海真規